

その他の診療科

31. 放射線科	99
32. 臨床検査科	102
33. リハビリテーション科	105
34. 歯科	108

● 診療科の特色

1. 医師 6 名(常勤 4 名、レジデント 2 名)、診療放射線技師 23 名、受付 1 名の体制。
2. 業務は、一般・透視撮影部門、CT 部門、MRI 部門、アンギオ部門、核医学部門、放射線治療部門に分かれる。CT、MRI はそれぞれ 2 台が稼働している。
3. RI 治療室があり、甲状腺がんのヨード大量内服療法を行っている。
4. MRI部門は3TMRI装置、核医学部門はSPECT-CT装置が 2017 年 3 月臨床開始。
5. MRI部門は 1.5TMRI装置が 2019 年 4 月バージョンアップ
6. 一般撮影部門は乳房撮影装置が 2019 年 9 月新機種に更新
7. 放射線治療部門は、高精度放射線治療に対応する治療装置が 2016 年 10 月臨床開始。
8. 放射線被曝管理のためクラウド型線量管理システムを 2020 年 3 月導入

● 医療機器

一般・透視撮影	フラットパネル装置(CALNEO)CR 装置
	デジタルラジオグラフィ装置(ADR-200A/R5)
	X線乳房撮影装置(Amulet innovality)
	骨密度測定装置(Hologic Horizon)
CT	MSCT320 列(Aquilion ONE)
	MSCT80 列(Aquilion PRIME SP)
MRI	Ingenia 3.0T
	Achieva dstream1.5T
アンギオ	アンギオ CT(Infinix Celeve-I Apuilion PRIME)
	心カテ(Allura Xper FD1010)
	心カテ(Allura Xper FD1010)
核医学	Discovery NM/CT 670
放射線治療	リニアック(INFINITY)
	CT シミュレータ(Aquilion LB)
	三次元放射線治療計画装置(MONACO)

● 診療実績

1. 撮影患者数

検査別	患者数
一般撮影	63,290
透視撮影	1,407
CT	31,484
MRI	7,737
アンギオ	2,507
核医学	2,382

2. 放射線治療患者数

治療方法	患者数
外照射	257
その内全身照射	1
その内体幹部定位放射線治療	20
ヨード内服療法	41

3. 放射線治療疾患（新患 計 222 件）

原発巣	新患患者数
脳・脊髄	2
頭頸部腫瘍(甲状腺を含む)	13
食道	11
肺・気管・縦隔	72
乳腺	30
肝・胆・膵	10
胃・小腸・結腸・直腸	17
婦人科腫瘍	0
泌尿器系	38
造血器リンパ系	25
皮膚・骨・軟部	2
その他(悪性)	1
その他(良性)	1
小児	0

4. 2021 年度 IVR 件数（計 293 件）

主な手技	症例数
透析シャント PTA	116
CT ガイド下生検(肺、骨、縦隔など)	65
膿瘍ドレナージ	19
CV ポート留置	18
気胸、膿胸ドレナージ	18
肝動脈塞栓術(肝 TACE)	14
VATS マーカー留置	8
大動脈ステント留置前コイル塞栓術	7
子宮動脈塞栓術(産後出血)	4
気管支動脈塞栓術(咯血)	2
動脈塞栓術(後腹膜出血)	2
移植腎動脈 PTA	1
右胃動脈瘤塞栓術	1
膵十二指腸動脈瘤塞栓術	1
肋間動脈塞栓術(血胸)	1
脾動脈塞栓術(腹腔内出血)	1
肝動脈塞栓術(HCC 破裂)	1
腎動脈塞栓術(血尿)	1
PTGBD(胆嚢ドレナージ)	1

● 研究実績

学会、研究会

- 1) 高須賀 良介
被ばく線量管理・記録について
第3回 医療情報研修会 2021年8月25日
- 2) 高橋 一徳
岡山医療センターにおける脳血流シンチグラフィ(ECD)の現状について
第28回 岡山核医学義塾 2021年8月28日
- 3) 宮川 真治
当院における小児腎シンチ及び腎移植について
国立病院機構中四国放射線技師合同モダリティ Web 勉強会 2022年1月19日
- 4) 西田 寛規
令和3年度放射線治療専門放射線技師認定試験 受験報告
国立病院機構中四国放射線技師会放射線治療技術 Web 勉強会 2022年2月24日
- 5) 佐々木 敏久
総合討論(何でも聞きたいコーナー)
国立病院機構中四国放射線技師会放射線治療技術 Web 勉強会 2022年2月24日

講演

なし

座長

- 1) 第22回ももたろうCTイメージングセミナーMomoCT(ももっち)セミナー 2021年6月17日
「腹部領域～GE社製CTの臨床応用～」 「下肢領域～キャノン社製CTの活用」
佐伯 周平
- 2) 国立病院機構中四国放射線技師会放射線治療技術 Web 勉強会 2021年12月8日
「KUB、IVPの検査について」「腎及び膀胱ダイナミック・CTウログラフィについて」
佐伯 周平
- 3) 国立病院機構中四国放射線技師会放射線治療技術 Web 勉強会 2022年1月19日
当院における尿管ステント留置術」「生体腎移植における3DCTについて」
佐伯 周平

●診療科の特色

1. 常勤病理診断医:2名、非常勤病理診断医2名、常勤精度管理医師:1名

常勤臨床検査技師:28名 非常勤臨床検査技師:8名 検査助手:2名で検査業務を運営している。

2. 夜間帯は当直体制として24時間体制での検査体制を構築している。新型コロナ検査(院内PCR)に対応すべく、1名のバックアップ体制を組んでいる。

休日日勤帯は2名で緊急検査及び院内PCRを実施。

3. 日本臓器移植ネットワークより移植検査センター業務を輸血管理室で実施。

(R3年度実績:脳死心停止ドナー検査10件、新規献腎移植登録者検査40件)

4. 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会認定の精度保証認証施設に登録中。

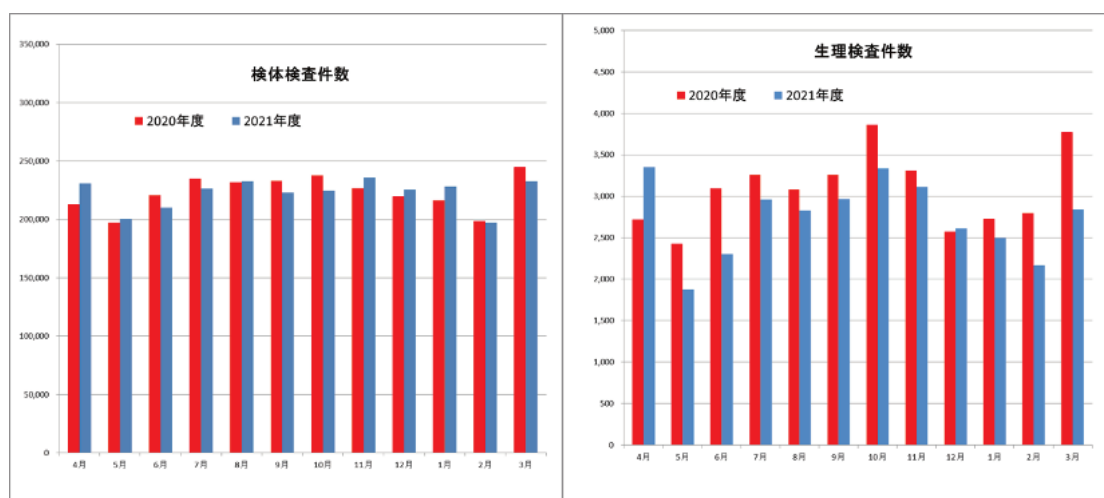
5. チーム医療に積極的に参加。(外来採血・NST・ICT・心臓カテーテル検査・がんゲノム検査など)

●教育・研修活動

1. 毎月1回内科症例のCPCを実施(1~2症例)。
2. 臨床検査科内で概ね月1回の勉強会の実施。
3. 例年は岡山理科大学4回生の病院実習を受け入れているが、R3年度は新型コロナのため受け入れ中止。
4. 2年次の臨床研修医に対して超音波・病理細胞診・細菌検査の実習実施。
5. ISO 15189 認定取得に向け鋭意活動中。

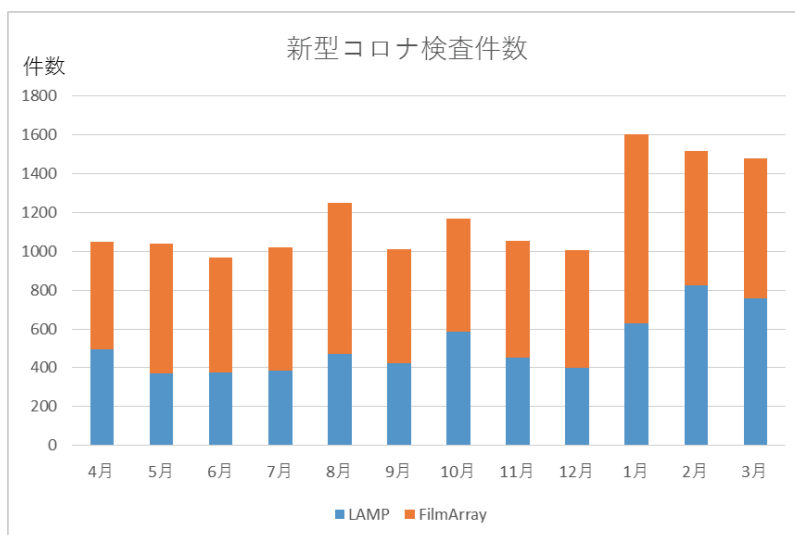
●2021年度の主な臨床検査科統計の概要

2021年度の検査件数は2020年度と比較し、検体検査で前年比102%、生理検査で92%となった。生理検査については新型コロナの感染拡大の影響を大きく受けており、特に呼吸機能検査については前年比62%と大幅に減少している。



	2020 年度	2021 年度
検査修繕費	¥6,429,195	¥9,075,164
検査点検	¥3,755,147	¥7,681,245
年間保守	¥12,072,141	¥12,033,208
試薬代(検査科)	¥298,206,245	¥440,067,019
診療材料費(検査科)	¥38,570,788	¥40,164,422
合計	¥359,033,516	¥509,021,058

試薬代、診療材料の費用が前年比 142%と大幅に増加しているのは新型コロナ関連検査(院内 PCR、LAMP 法)の件数が増えていることによるものである。新型コロナ遺伝子検査の院内測定件数は 2020 年度 4,043 件、2021 年度 14,169 件であった。また、検査修繕費、検査点検の費用の増加については、ISO 15189 の要求事項に求められている機器の保守管理に対応するための経費が増えている。



● 2021 年度に検査科が参加した主な外部精度管理

1. 日本臨床衛生検査技師会主催精度管理調査

実施時期:6 月初旬 結果:11 月下旬、

目的:他の精度管理では実施できない細菌、病理、生理検査などの精度管理

2. 日本医師会主催精度管理調査

実施時期:9 月初旬 結果:2 月下旬

目的:項目は生化学、免疫、血液、一般検査の精度管理調査

3. 日本病理精度保証機構外部精度評価

実施時期:前期 7 月中旬、後期 10 月中旬

目的:染色やバーチャルスライドの判定で精度維持・向上を行う精度管理

4. 日本組織適合性学会主催 HLA-QC ワークショップ

実施時期:4 月中旬 結果:8 月

目的:HLA 検査の精度維持

5. 岡山県臨床検査技師会主催クロスチェックサーベイ

実施時期:毎月初旬 結果:毎月中旬

目的:岡山県下の施設間差を毎月モニターすることで、リアルタイムの施設間是正が行える

● 研究業績

1. 学会・研究会

- (1) 永田 啓代
コンサル契約せず取得したISO15189認定～当院独自のQMS(品質マネジメントシステム)～
第44回香川県医学検査学会 2021年4月19日
- (2) 高松 泉
心筋障害を呈した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の2症例
日本超音波医学会 第94回学術集会 2021年5月21日
- (3) 永田 啓代
骨髓腫細胞の核内にラッセル小体様封入物や空胞を認めた3症例
第22回日本検査血液学会学術集会 2021年9月11日
- (4) 永田 啓代
原因不明の偽性血小板減少症の一例
第22回日本検査血液学会学術集会 2021年9月11日
- (5) 永田 啓代
血小板寒冷凝集素による偽性血小板減少症への対応
日本医療検査科学会 第53回大会 2021年10月8日
- (6) 松田 正浩
Calretininが強陽性となり診断に苦慮した肺腺癌の一例
第60回日本臨床細胞学会秋季大会 2021年11月20日
- (7) 中川 智博
当院における不規則抗体検査酵素法の廃止と同定法変更による抗体検出状況の変化
第54回日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会 2021年12月5日
- (8) 友滝 彩花
多発肝転移をきたした神経内分泌腫瘍の一例
第9回国立病院機構臨床検査技師会中国四国支部学会 2022年2月5日
- (9) 中川 智博
IH-500とIH-1000の不規則抗体検査に乖離がみられた冷式自己抗体の1症例
第52回岡山県医学検査学会 2022年3月6日

リハビリテーション科

医長 塩田 直史

医長 西崎 真里

●診療科の特色

1. 職員構成

専任医師 2名 理学療法士 16名 作業療法士 5名 言語聴覚士 2名 リハビリ助手 1名

2. 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション I

脳血管疾患等リハビリテーション I

廃用症候群リハビリテーション I

運動器リハビリテーション I

呼吸器リハビリテーション I

がん患者リハビリテーション

3. 対象

脳血管疾患等リハビリテーション・廃用症候群リハビリテーション・運動器リハビリテーション・呼吸器リハビリテーション・がん患者リハビリテーション は入院患者のみ対応

心大血管疾患リハビリテーション・言語聴覚療法 は入院患者と外来患者ともに対応

リハビリテーション実施比率(領域別)

心大血管	11.95%
脳血管	26.59%
廃用	11.81%
運動器	35.40%
呼吸器	6.57%
がん	5.72%
摂食機能療法	1.95%

リハビリテーション実施比率(部門別)

理学療法	70.38%
作業療法	23.25%
言語聴覚療法	6.37%

4. 365日リハビリテーション

週末ならびに祝日などの休日に切れ目なくリハビリテーションサービスを提供

5. 褥瘡ラウンド・NST・脆弱性骨折ラウンド・転倒転落ラウンド・RST・排尿ケアラウンド・PCT ラウンド等、多くのチーム医療に参加

●診療実績

2021 年度理学療法実績(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心大血管	853	666	882	794	703	702	691	849	861	692	584	760	9,037
脳血管	521	458	640	659	661	675	558	688	704	718	681	723	7,686
廃用	498	480	721	686	642	697	703	656	561	624	541	875	7,684
運動器	1,928	1,616	2,007	1,757	2,055	1,814	2,017	1,841	1,649	1,739	1,344	1,901	21,668
呼吸器	392	419	517	402	448	428	263	285	313	254	359	444	4,524
がん	272	286	365	343	308	203	268	271	395	496	296	415	3,918
計	4,464	3,925	5,132	4,641	4,817	4,519	4,500	4,590	4,483	4,523	3,805	5,118	54,517

2021 年度作業療法実績(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
心大血管	7	22	11	20	11	21	0	17	58	12	6	37	222
脳血管	706	756	936	1,011	855	897	635	828	694	813	718	665	9,514
廃用	211	154	309	216	83	83	110	63	63	40	21	114	1,467
運動器	555	346	378	334	466	436	712	558	619	520	350	474	5,748
呼吸器	122	48	78	47	89	0	11	26	39	10	37	61	568
がん	98	61	42	16	11	21	38	15	29	31	52	74	488
計	1,699	1,387	1,754	1,644	1,515	1,458	1,506	1,507	1,502	1,426	1,184	1,425	18,007

2021 年度言語聴覚療法実績(単位)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳血管	315	517	260	243	275	271	244	241	220	239	312	261	3,398
がん	0	0	0	0	0	0	6	9	11	0	0	0	26
計	315	517	260	243	275	271	250	250	231	239	312	261	3,424
摂食機能(件数)	100	101	146	140	119	113	114	148	137	128	83	179	4,932

リハビリテーション科収益推移(過去3年間)

2019 年度	18,472,525 点
2020 年度	19,932,330 点
2021 年度	21,546,530 点

● 研究実績

論文

- 1) M. Nishizaki; A. Ogawa; H. Matsubara
High Right Ventricular Afterload during Exercise in Patients with Pulmonary Arterial Hypertension. 2021 May

講演会

- 1) 西崎 真里
心臓リハビリテーション
令和3年度国立病院機構中四国ブロック看護師循環器研修会 2021年5月19日
- 2) 西崎 真里
心臓リハビリテーション
令和3年度国立病院機構中四国ブロック看護師循環器研修会 2021年12月8日
- 3) 中野 綾乃
当院における心不全患者に対するリハビリテーションのシステムとその実際
令和3年度国立病院機構中四国ブロック看護師循環器研修会 2021年5月19日
- 4) 勝部 翔
心不全に対する心臓リハビリテーションについて
令和3年度国立病院機構中四国ブロック看護師循環器研修会 2021年12月18日
- 5) 松尾 剛
管理体制のあり方と業務の見直し
令和3年度国立病院機構東海北陸グループリハビリテーション研修会 2021年8月19日

学会発表

- 1) 勝部 翔
気腫合併肺線維症に伴う重症肺高血圧症患者に対してリハビリテーションを実施した一例
日本心臓リハビリテーション学会第7回中国支部地方会 2021年11月27日
- 2) 竹原 典子
当院における脆弱性骨折に対する多角的・他職協働チームの活動について
第75回国立病院総合医学会 2021年10月23日
- 3) 勝谷 友裕
多職種連携チームによる大腿骨近位部患者に対する骨粗鬆症治療の取り組み
第75回国立病院総合医学会 2021年10月23日
- 4) 吉川 征弥
大腿骨転子部骨折を受傷した肺高血圧症患者の歩行障害に対して理学療法介入を行った一症例
第75回国立病院総合医学会 2021年10月23日
- 5) 石井 達也
高齢者の腰椎固定術後の患者における生活範囲の変化～E-SASを用いて～
第75回国立病院総合医学会 2021年10月23日

● 診療科の特色

歯科は入院患者の周術期口腔機能管理(口腔ケア)を積極的に推進しています。これにより全身麻酔での手術患者の口腔環境を整え、当院の医療パフォーマンスをささえます。

また地域歯科医院では処置困難な抜歯、嚢胞摘出術(開窓術)、歯根端切除術、歯の外傷、顎関節症、口腔粘膜疾患、舌や顎に発生する腫瘍性病変などを診断・治療します。

さらに全身疾患(心臓病や肝・腎など内臓疾患、血液疾患、ステロイドや抗血栓剤などを服用中の場合など)があつて、地域歯科医院での治療が困難な患者の一般歯科診療を行います。

● 診療実績

1. 外来小手術

	手術名	件数
1	埋伏歯抜歯術	233
2	歯根端切除術	11
3	口腔良性腫瘍摘出術	7
4	その他	19

その他;歯の脱臼・歯槽骨骨折の整復固定術、粘液嚢胞摘出術、腐骨除去術、歯槽骨整形術など

2. 歯科衛生士が行う専門的な口腔機能管理 (医科からの紹介により実施)

	実施内容	件数
1	周術期口腔機能管理(全身麻酔下での手術・移植・CRT 含む)	586
2	入院患者の訪室(ベッドサイド)での口腔ケア	247
3	糖尿病教育入院患者の歯周病管理	51
4	ビスホスホネート製剤・デノスマブ製剤導入前の口腔管理	168
5	外来の一般患者の歯周病管理	190
6	その他(外来化学療法患者や障害児者等の口腔管理など)	13

● 研究業績

論文発表

- 1) Kiyofumi Takabatake, Masakazu Matsubara, Eiki Yamachika, Yuki Fujita, Yuki Arimura, Kazuki Nakatsuji, Keisuke Nakano, Histoshi Nagatsuka, Seiji Iida
Comparing the Osteogenic Potential and Bone Regeneration Capacities of Dedifferentiated Fat Cells and Adipose-Derived Stem Cells In Vitro and In Vivo: Application of DFAT Cells Isolated by a Mesh Method
International journal of molecular sciences,22, 12392,2021 Nov

学会

1) 角南 次郎

上顎の複数の骨膜下インプラントおよびブレード型、ピン型インプラントを数回に分けて除去し治療した1例

第75回国立病院総合医学会

2021年10月23日